

1. 建物概要

建物名称 (仮称)富士見台1丁目マンション新築工事

BEE

0.9

BEEランク

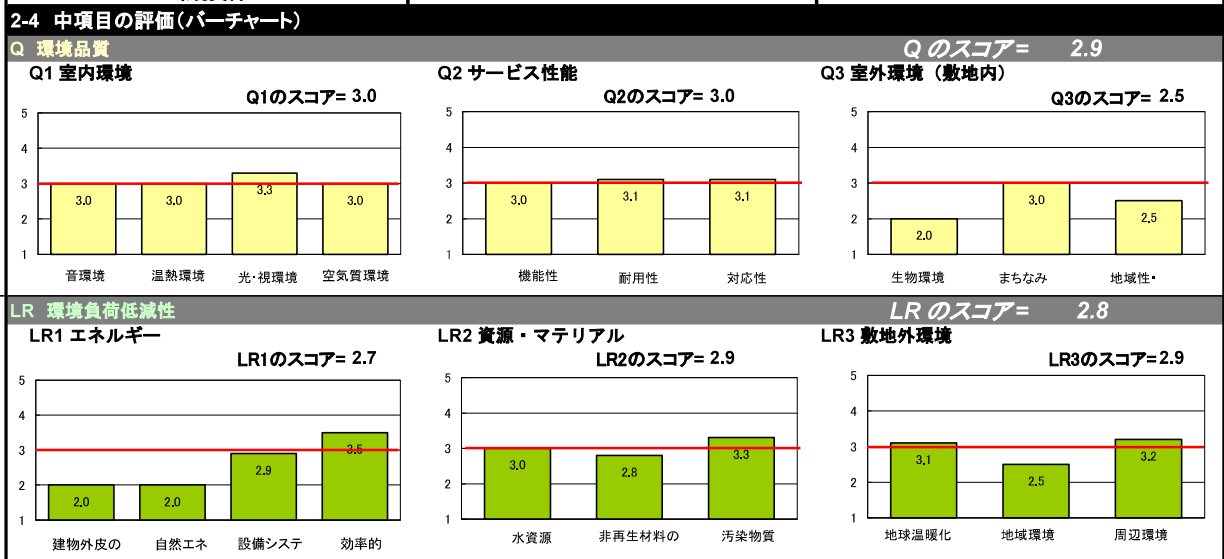
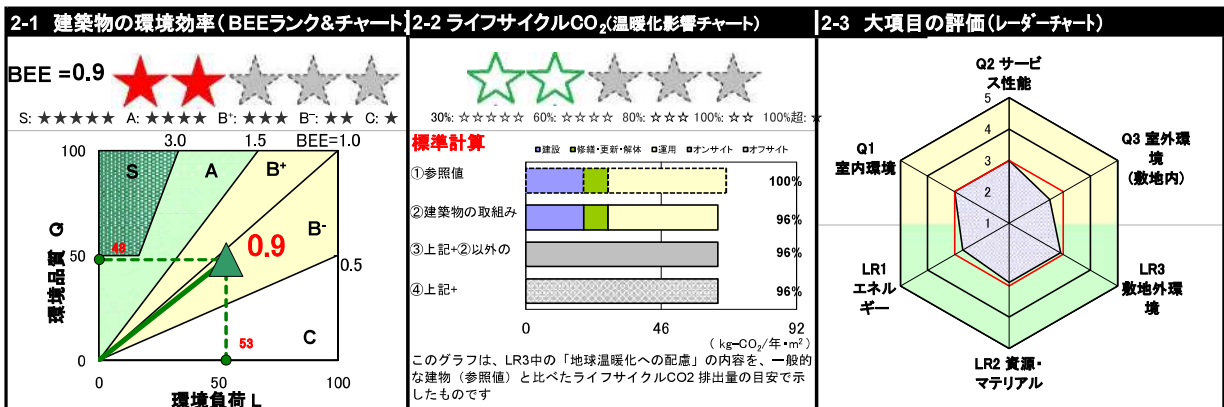
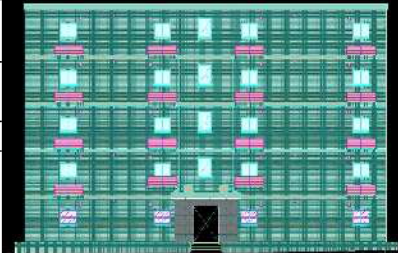
B-

★★

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	2.6	/5	            

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	〈仮称〉富士見台1丁目マンション新築	階数	地上5F	
建設地	静岡県静岡市駿河区富士見台一丁目	構造	RC造	
用途地域	工業地域	平均居住人員	90 人	
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年8月 予定	評価の実施日	2025年2月6日	
敷地面積	1,169 m ²	作成者	早野真介	
建築面積	463 m ²	確認日		
延床面積	2,079 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項		
総合 これは、CASBEE静岡(2021年 SDGs対応版)による評価である。		その他 (特になし)
Q1 室内環境 住戸の主要居室の昼光率は2.4%、共用部は0.07%を確保し、上階バルコニー(庇の代用)やカーテンを用いることにより、室内において昼光を制御しやすくした。	Q2 サービス性能 各階の階高は2.96mとし、階高に余裕をもたせた。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地の57%を空き地とし、風の通り道を確保した。
LR1 エネルギー 住戸全戸でLEDを使用する等の計画をし、BEI=0.91になるように一次エネルギーの消費を抑えた。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器を使用し、従来の41%分の節水をした。また、断熱材はODP=0の建材を使用し、オゾン層に影響を及ぼさないようにした。	LR3 敷地外環境 隣等間隔指数0.66を確保し、夏季に敷地内を通る風が回復しやすいようにした。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される